



熊西中学校だより

学校教育目標

みんなが生き生きと学び、

自主・自律・共生の力を育むことができるあたたかい学校



令和8年7月16日号

北九州市立熊西中学校

校長 中川 由美子

「一人一人のドラマが、次の一步につながる」



夏の部活動の大会やコンクール等が行われ、熊西中の生徒たちがそれぞれの舞台で力いっぱい挑戦する姿を見ることができました。勝利に歓声を上げる姿、惜しくも敗れ悔し涙を流す姿、仲間を精いっぱい応援する姿。どの場面にも、皆さんがこれまで積み重ねてきた努力があり、一人一人にかけがえないドラマがありました。私は会場で、皆さんの真剣な表情や最後まであきらめない姿勢に何度も心を打たれました。

部活動には、勝敗や順位だけでは語れない価値があります。目標に向かって努力すること、仲間を信じ支え合うこと、自分の弱さと向き合い乗り越えようとする、すべての経験は、これからの人生を支える大切な力になります。

部活動には引退があります。しかし、それは終わりではありません。引退を迎えた3年生にとっては、新たな目標へ向かうスタートです。1,2年生にとっては、先輩から受け継いだ思いを胸に、新しいチームをつくり上げていく始まりとなります。



次のステージには、次のステージだからこそ学べることがあります。新しい目標に挑戦することで見えてくる景色があり、失敗や成功を重ねる中で、人は大きく成長していきます。今回の経験は決して終点ではなく、未来へ続く大切な一歩です。これからの学校生活でも、皆さんには、部活動で培った粘り強さや仲間を思いやる心を生かし、一日一日を大切に積み重ねてほしいと願っています。皆さんには皆さん自身がまだ出逢えていない自分自身の素晴らしさを秘めています。自分自身の可能性を信じ、新たな挑戦を続けてください。

一人一人の努力には、それぞれのドラマがあります。そのドラマは、これから始まる新しい物語へとつながっています。皆さんが次のステージでも自分らしく輝けるよう、学校としても引き続き全力で応援しています。

感謝を伝える大切さ



大会やコンクールでは、多くの保護者や地域の方、卒業生、先生方が会場に足を運び、皆さんへ温かい声援を送ってくださいました。その応援は、きっと大きな力になったことでしょう。そして、私が何より嬉しく感じたのは、大会後に「応援ありがとうございました」と自分から気持ちを伝えたり、学校で改めてお礼を伝えたりする皆さんの姿でした。感謝の気持ちを言葉にして伝えることは、特別なことではありませんが、その一言や行動に、人とのつながりを大切にすることや支えられていることへの感謝を感じました。

このような行動は、これからの進学先や社会へと歩いていく次のステージでも、周囲から信頼され、応援され、愛されることへとつながっていきます。

能力や結果だけでなく、人を思いやり、感謝を言葉で伝えられる人には、自然と人が集まり、新たなご縁が生まれます。これから大会を迎える皆さんも、競技や発表に全力を尽くすことはもちろん、支えてくださる方々への感謝を忘れず、一つ一つの出逢いを大切にしてください。その積み重ねが、皆さんの人生をより豊かなものにしてくれると信じています。

これから大会に臨むみなさんへ

これから大会やコンクールに臨む皆さん、胸を張って、その舞台に立ってください。皆さんが積み重ねてきた努力は、必ず皆さんの力になります。支えてくださった方々への感謝を胸に、仲間とともに培った力を信じ、最後まで全力で挑戦し、やりきってください。最後まであきらめず挑戦する姿は、多くの人の心を動かします。皆さん一人一人が、自分らしく最高の力を発揮できることを心から願っています。

全校で皆さんを応援しています!!



保護者の皆様へ



大会期間中は、多くの保護者の皆様に温かいご声援をいただき、心より感謝申し上げます。日々の健康管理や励まし等、ご家庭での支えあってこそ、子どもたちは安心して練習に励み、それぞれの舞台で力を発揮することができていると感じています。保護者の皆様の応援は、子どもたちの背中を押し、大きな勇気となります。これからも、子どもたちの挑戦を共に支え、成長を共に喜び合える学校でありたいと思っています。これかもどうぞよろしくお願いいたします。